2010年4月1日（ 木 ）

[HP掲載ページ]

[会社情報]

起業家発掘・支援イベント「大挑戦者祭2010」㊦

「ドリームゲートグランプリ」最優秀賞に坂西氏

◉多言語の世界掲示板 ワールドジャンパー.NET

八楽 坂西優 代表取締役

ドリームゲートグランプリ　起業準備から会社設立まで3年未満の初期起業家がビジネスプランを競う。7人のファイナリストが審査委員に向けプレゼン。審査委員は「資金提供」「販売協力」「業務提携」「オフィススペース提供」など支援項目が書かれた札を掲げ、ファイナリストに実際の支援に乗り出すことができる公開型ビジネスマッチングイベントになっている。

世界中の人とコミュニケーション

――最優秀賞となった「多言語の世界掲示板」とは

「自動翻訳で世界中の人とコミュニケーションできるネット上の掲示板を立ち上げた。これまで違う言語の人と会話できるサイトがなかった。完璧に翻訳できないからだが、コミュニケーションを楽しみたい。意思疎通を図りたいというニーズはある。そこで『完璧な翻訳が求められるのか、完璧でなくても伝わればいい』という発想の転換によりつくった。ただ、正しく伝わっているかを確認するため、例えば日本語から英語に翻訳したものを再び日本語に翻訳する折り返し機能をつけた」

――アニメから始めたのは

「投稿をみると『私のアニメを見てください』というように文書プラス写真、イラストで自己表現しており、おもしろいし楽しい。サイトを立ち上げるとき事前に世界中に聞いたところ、アニメのレスポンスがよかったのでアニメでスタートした。日本のアニメは世界的に注目されており、中でも中南米つまりスペイン語圏からの投稿が多い。メキシコとフランスのアニメ系メディアと提携が決まり、ウエブ上でバナー交換などを始めていく予定だ。今後はフランス語圏とスペイン語圏の人々が会話するようになる。投稿者のなかから新人クリエーターを発掘できるようになればいい」

――今後の事業展開は

「アニメからスポーツや旅行などにも広げていく。また、翻訳も現在は11カ国語だが、将来的には世界百数十カ国語にも対応したい。マイナー言語もサポートすることで、サイト運営の意義もでてくる。今は売り上げがたっていないが、今期（2010年12月期）は300万円の売り上げを目指す。5～7年後には1億円の経常利益を上げて、上場も目指したい」

IPO大賞 2部門で表彰

■グロース部門

ディー・エヌ・エー　南場智子 代表取締役社長兼CEO

永久ベンチャーでいたい

――大挑戦者祭では「起業のすすめ」をテーマに講演した

「多くの起業家、その候補者のエネルギーを感じた。将来の活躍が楽しみだ。米シリコンバレーに毎月1週間ほど行くが、そこには起業したくなる環境、起業しやすい環境が整っている。リスクマネーが豊富なため失敗してもその経験が血となり肉となって次につながったり、ベンチャー企業がエンジニア集団なら経営を見てくれるエンゼルがいたりと、起業家は伸び伸びと活躍しやすい。一方の日本は、失敗すると評判が落ち金銭的にも苦労する。成功してもステータスは高くない。それでも起業したいという若い挑戦者には、失敗してもプロセスを重視して2度目のチャンスを与えるべきだ。きちんと評価して、スターをどんどんつくれば社会も変わるはずだ」

――成功する秘訣は

「私も最初は大失敗した。それでも成功するに違いないと固く信じていた。時のめぐり会わせ、運の要素も大きいが、時代のうねりをとらえることが大事だ。パソコンからケータイ、オークションから広告、ソリューションネットワークサービスからソーシャルゲームへとビジネスモデルを柔軟に広げていったことがカギだったと感じている」

――今後は

「永久ベンチャーでいたいし、永久ベンチャーとしてのエネルギーを大事にしたい。その条件は機動性で『ここぞ』というときに速く動くこと。また、常に新しいことに挑戦することだ。私たちは50年ぶりに登場した世界をリードできる本格的企業と呼ばれることを目指し、日本に縛こまるのではなく世界を視野に活躍しようとしている。世界挑戦のビジネスをいくつか準備しており、2010年度はその1つでも成功させたい」

■ルーキー部門

クックパッド　山岸延好 執行役副社長兼COO

世界最大の投稿レシピ

――社会ニーズに合致し新市場を開拓したことが評価された

「生活に根付いて道具として使われるサイトが少ない。利用者は主婦を中心に月間900万人規模だが、『今日は何を作ろう』という献立の意思決定シーンで使われている。インターネットは本来、道具として使われるものであり、新しいマーケットを切り開いたといえる。投稿レシピは72万品と世界最大で、投稿者は作ったオリジナルレシピを知ってもらいたいし、探す人も『おいしそう』『食べたい、作りたい』で献立を決める。両者にとって価値あるサイトになっている」

――家族だんらんづくりにも貢献するのでは

「私たちの理念は『毎日の料理を楽しみにすることで心からの笑顔を増やす』ことだ。料理を手間や作業ではなく、生活の楽しみに変えたい。単なる調理ではなく買い物から食事シーンまで、しかも誰と食卓を囲むかも重要なことなのだが料理を楽しめるようになればいい。その役に立ちたい。料理を楽しむという意味では、投稿者のレシピをわが家風に工夫したり、外国料理も日本風にアレンジしたりしている。食の伝承も大きなテーマだ。家庭内で料理の伝承が途絶えるのではという危機感を持っている。だしの取り方など料理の伝承をネットで伝えることに取り組みたい。とにかく豊かな世の中にしたい。これは普遍的なことで世代を超えている」

――株式上場で変わったことは

「成長の加速と社会的信頼を増すことが上場目的だが、株主、投資家などステークホルダー（利害関係者）が増えているという意識がある。社員も社会から見られていると緊張感を持って仕事をしている」

IPO大賞　関東ニュービジネス協議会が、新規株式の上場で日本経済活性化に貢献している、あるいは牽引役になっている企業を顕彰。これにより、株式公開の意義を世間に広報するとともに、ニュービジネスやベンチャー企業の振興と育成に寄与する。ルーキー部門は株式上場後1年以内の企業が対象。日本経済の新たな活性化に貢献する可能性が高いビジネスモデルのベンチャー企業を中心に選出。グロース部門は株式上場後4年が経過、社会的評価が定着し日本経済活性化の牽引役になっている新たなビジネスモデルのベンチャー企業を中心に選ぶ。